

農政連だより

# みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

1

月号  
No.241

## 主な内容

- ・ 新年のご挨拶
- ・ JA 阿蘇女性部活動報告
- ・ ガンバッテいます：松本哲海さん、藤岡和美さん
- ・ 各連合会からのお知らせ



鞠智城（山鹿市：写真提供 熊本県）

約1300年前の東アジア情勢が緊迫した折、日本列島への侵攻に備えて、大宰府などへ食料や武器等を補給するための支援基地として、大和朝廷が築いた山城である。現在、国指定史跡であり、珍しい八角形鼓樓の復元や出土品の展示など歴史公園として整備を進めている。

## さわらび

明けまして、おめでとうございます。  
さて、平成二十二年の幕開けに、政局が大きく動き始めている。

健康上の理由で、一月六日、藤井財務大臣が辞表を提出。鳩山総理は、後任に菅副総理・国家戦略相を横滑りさせ、国家戦略相を仙谷行政刷新相への兼務を決定した。

鳩山総理は政権の混乱を最低限に抑える対応であったろうが、これからの政権運営に少なからず影響を与えるのは、必至である。

更に、「政治と金」の問題で、国民が納得する説明がなされていない。小沢幹事長の資金管理団体「陸山会」による平成四年の土地購入代金三億四千万円が、政治資金収支報告書に記載されず、その原資も不明として元私設秘書が刑事告発されている。更に小沢幹事長には、新進・自由党時代の七十五億円におよぶ「組織対策費」の不明朗な支出も明らかとなっている。

そして又、鳩山首相の資金管理団体「友愛政経懇話会」をめぐる偽装献金問題や母親からの資金提供問題も発覚するなど、政治資金の不透明さが明らかになった。

「首相と与党幹事長がともに政治資金に絡む疑惑で追求を受けている現状は異常な事態」（日本経済新聞）と言える。首相と幹事長は国民が納得する説明責任を明確に果たさなければならぬ。

鳩山政権はこれまで、基地問題等で迷走を続け、明確な決断を先送りしてきた。しかしながら、これらについては、政権の「ハネムーン」期間として国民も寛大に許してきた。しかしながら、経済政策、外交及び国民の日々の暮らし等課題は山積しており、今後の政治の停滞は許されない。

十八日から通常国会が開催される。新たな「鳩管体制」で、どのように変わっていくのか、国民は注視しよう。

# 新年のご挨拶



熊本県農業者政治連盟  
委員長 園田 俊宏

新年明けましておめでとうござ  
います。

県下盟友の皆様には、ご家族お揃  
いで新春を迎えられたこととお慶  
び申し上げます。併せまして、日頃  
から農政連の事業・活動に対しまし  
て、ご理解とご協力を頂きまして、  
心から感謝申し上げます。

さて、昨年は激動の一年でありま  
した。八月に実施されました総選  
挙で民主党が圧勝し、「民主党政権」  
が誕生したのは御案内のとおりで  
あります。

新政権が四ヶ月を経過した現在、  
国の政策に多くの変化が現れてき  
ております。まずこれまでの「農業  
政策・予算要求」を民主党県連に窓  
口を一本化し、民主党幹事長室に集  
約化されました。

さらに、農業政策についても本年  
度より、「米戸別所得補償モデル事  
業」が実施されるなど、大きな転換

が計画されており、今後の展開を慎  
重に見極めていく必要があります。

併せて重要なことは、新政権が、  
EPA（経済連携協定）、WTO（世  
界貿易機関）の貿易自由化交渉を進  
めようとする動きであります。外務  
省に岡田外務大臣を本部長した「E  
PA・WTO推進本部」を設置し、  
すでに初会合が開かれているとも  
聞きます。

今後、わが国農業に壊滅的な打撃  
を与えかねないこれらの交渉を、注  
意深く監視していく必要があります。

本年は、内外ともに厳しい情勢が  
予想されますが、県下盟友の負託に  
全力で応えてまいる所存でありま  
す。皆様のご支援とご協力を心より  
お願い申し上げます。念頭のご挨拶  
と致します。

# 2009 農政連の動き

▶8月11日、日米FTA阻止国民集会(東京日比谷野外音楽堂)



▶8月13日、衆議院選挙公認推薦状授与式(JA熊本経済連ホール)



▶10月2日、生産部会・中核農家・青壮年部合同研修会(熊本市内)



▶10月5日、地産地消推進キャラバン出発式(JA熊本経済連会館前)



▶12月4日、第23回JA熊本県大会(県立劇場演劇ホール)



▶12月17日、平成22年度県農業政策・予算に関する要望書の提出(県庁)



▶4月11日、次期衆議院選挙の応援で挨拶する石破農水相(JA熊本市野菜選果場)



▶5月8日、県青壮年部通常総会の開催(JA熊本経済連ホール)



▶5月11日、県女性協通常総会の開催(JA熊本中央会教育センター)



▶7月23日、第20回農政連通常総会を開催(JA熊本中央会教育センター)



▶7月27日、第2回農政連委員会を開催(熊本市内)



▶8月6日、衆議選に向けて連合会職員集会(JA熊本経済連ホール)



# 女性部活動報告

## ■ J A 阿蘇女性部活動報告 ■

女性部組織は、北部地区、中部地区、南部地区の9支部でスタート、杉本いよ部長をはじめ1043名の会員組織で活動して9年目になります。ここにH21年度の阿蘇女性部活動を紹介します。

### 〈中部・北部・南部地区の代表者による家庭菜園コンクール〉

年1回、9月に中部地区2名、南部地区2名、北部地区1名の代表者5名の菜園を営農部常勤役員、園芸課長、各支部の部長などで審査して回りました。地産地消と自給率アップを目指して始められた家庭菜園コンクールも、7回目を迎えました。野菜の種類、利用方法などについて、採点要領に従って審査をした結果、最優勝に白水支部の川内スミ子さんが選ばれました。

### 〈J A 阿蘇女性部フォーラム 家の光〉

去る11月5日阿蘇いこいの村で、役員・各支部の会員約210名が集まり、女性部フォーラム(家の光)が開催さ

れました。チェリーフレッシュあそ1・2の皆さんによるフランダースで始まり、家庭菜園の表彰式や、管内の小学4年生3名によるちゃぐりん感想文の発表、部員による体験発表。また青壮年部による組織発表など隆盛に開催され、最後のお楽しみ抽選会では大変な盛り上がりとなりました。

### 〈米粉ミックスでロールケーキ〉

11月27日、熊本リビングの新藤さんと支部長・事務局で、米を見直そうと米粉を使った高菜ピザやロールケーキ、それを蒸したチーズケーキ作りに挑戦しました。

ふんわりとしてとてもおいしくできました。

J A 阿蘇女性部は、その他に、健康教室、3B体操、グラントゴルフ、料理教室など活発な活動を展開しています。



▲挨拶される家の光・間壁部長



▲審査員に説明する菜園者



▲家庭菜園コンクールでチェックする審査員



▲講演に熱心に聞き入る参加者ら



▲メモを見ながら米粉を使って調理



▲ロールケーキに挑戦



▲高菜ピザ



▲トマトを使ったピザ

▲うまく出来たチーズ・ケーキ





松本 哲海さん  
JAたまな

JAたまなの松本さんのお宅を訪問しました。

松本さんは、昭和28年8月生まれ。旧滋賀県立短期大学農学部を卒業して就農、農業一筋に35年が過ぎました。

当初はイチゴとみかん栽培に挑戦、経験を深める中、今では、みかん一筋でガンバっています。

農家のくらしが、少しでもよくなるようにと、県の果樹研究会の会長や天水町果樹部会の会長など多くの世話を引き受け、汗を流しておられます。

現在は、温習みかん2.5ha、雑柑（河内晩柑、デコポン等）80a、米40aを栽培しています。

### ■安定収入に向けて

海沿いの天水、河内地区は田当たりがよく、温暖な気候で霜が降りにくいことから、古くからみかんの産地として栄えてきました。

以前は、単一品種や隔年収穫で、価格の暴落

時には、大変苦労した時期もありました。そこで、今では、価格における危険分散と、労働が一時期に集中しないように、周年供給に心がけています。

9月の終わりの極早生から始まり、5月まで収穫時期が異なる品種を栽培して、JAへ出荷しています。

また、毎年、継続して、安定した生産ができるように樹勢管理や収穫作業がしやすいように株間を空かしたり、薬剤、肥料の適時使用、剪定や摘果、病気の早期発見など、栽培管理の徹底を心がけています。

「このように栽培管理を徹底することで、高品質みかんの継続出荷、計画出荷、みかんの腐敗を出さない強い産地を目指します。そして、産地と消費者との信頼関係を高めるなど、有利販売の強化が、今後のみかん農家の存続に不可欠です」と話す松本さんは、電話の応対に大忙しです。

### ■記憶に残る出来事

「昭和59年1月の大雪が一番、印象に残っています。」

みかん農家としてやってきて、経営も安定して、これから経営拡大をして行こうと、その年の8月に、ハウスを新しく作ったそうです。

しかし、この大雪でハウスをつぶしてしまい、大変なショックを受けたと当時を思い出しておられます。

### ■好きな言葉

自分自身に負けない。「自分自身の、今の在り方を見つめなおして改め、精進して人に喜ばれるように、人の役に立つように成長していったらすばらしい」と話していただきました。



藤岡 和美さん  
JAかみましきフレッシュミズ

### ■JAに勤めています

藤岡さんは山都町の出身。「JAかみましき」に勤められています。9年前に現在のご主人と出会い、結婚されました。今では三人の男の子に恵まれ、仕事と子育てとフレッシュミズ活動にと頑張っています。

### ■職場結婚でした

実はご主人も、同じJAかみましきに勤務しています。知り合うまで、お互い同じ職場だとは知りませんでした。「ご両親は農業をされており、家も近所にあります。」

「わたし達夫婦の帰りが遅い時は、子供達を預かってくれるので、とても助かっています。」

### ■趣味は吹奏楽

クラリネットを演奏することが趣味だったという藤岡さん。町の音楽隊にも参加していました。今は子育てや仕事に追われているため、残念ながら、休

止中のごとです。

### ■フレッシュミズでの活動

JAかみましきフレッシュミズは、現在約十八名の会員で活動しています。入会のきっかけは、女性部指導員からの勧めでした。まだ子供達が小さいので、一緒に行けてお金を掛けずに活動できる場所があればいい、と思って入部しました。

主な活動として、お菓子作り、花植え、一日研修等があります。今年のお菓子作りでは、ホットケーキ粉を使ったいちご大福を作りました。

「子供だけでも参加できるようにしたので、とてもにぎやかになりました。」

今年は初めて女性部と合同で、ライフプラン学習を行いました。「十年後の将来設計をしたことで、自分なりに目標を立てて生活をしたい、と思うようになり、勉強になりました。」

### ■今後の期待と抱負

藤岡さんは今後の抱負として、会員を増やすことを挙げています。

「JAかみましき管内では、フレッシュミズ部会があるのは、矢部支所だけです。他の支所にもフレッシュミズ部会を作ってもらって、それぞれ交流したいです。」と話していただきました。

ごはん・お米とわたし作文・  
 図画コンクール表彰式開く

J A 熊本中央会は12月19日、第34回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの表彰式を熊本市で開きました。最高賞の熊本県賞は作文の部で小嶋咲紀さん（熊本大学教育学部付属中学校1年）、図画の部で松本悠花さん（植木町立田底小学校3年）が選ばれました。県内の小、中学校から作文の部に202校から1、344点、図画の部に253校から2、397点の応募がありました。

式には入賞者や保護者、学校関係者ら約100人が参加。江誠一郎中央会常務はこのコンクールを通して、食べ物大切さや、自然を大切にすること、家族や友達を大切にすることを養って下さい」とあいさつ。

作文の部熊本県賞「rice power」で受賞した小嶋咲紀さんは「ごはん好きのおじいちゃんに感謝したい」と話し、また図画の部熊本県賞「わあ、ほかほかだあー」で受賞した松本悠花さんも喜んでいました。



▶熊本県賞を受賞した小嶋さん⑤と松本さん⑥

2010年度県農業政策・予算要望書を県知事等へ提出

熊本県農業団体は12月17日、2010年度県農業政策・予算に対する要望書を県知事や県議会議員長、各政党にそれぞれ提出しました。

陳情にはJ A 熊本中央会会長など11農業団体の会長及び関係者約20人が出席。39項目、27億3、900万円の事業を要望しました。

10年度は、農業・農村振興対策として食料・農業・農村基本計画の見直し、作物別対策として米・畜産・果樹の価格・経営安定などの事業を要望。くまもとの農家経営「夢づくり」支援体制確立事業については、5、000万円へ要望額を大幅に拡充しました。

新規の要望としては、くまもとリーディング野菜確立支援事業（1、500万円）などを加えました。

団体を代表してJ A 中央会の園田俊宏会長が「県下農業者が、希望と意欲をもって営農に取り組むことができるよう、支援をお願いしたい」と述べ、蒲島郁夫知事は、「最大の目標は熊本の農業をよくすること。みなさんのアドバースを参考にしたい」と応えました。



蒲島知事らに要望する園田会長ら

くまもとのお米「しあわせ米こむ」キャンペーン

くまもと売れる米づくり推進本部は12月9日、くまもとのお米「しあわせ米こむ」キャンペーンの抽選会をJ A 熊本経済連で行いました。15回目となる今年の応募総数は2万1、508通。厳正な抽選の結果、幸せ賞10名、米こむ賞20名、新米賞25名、まんぶく賞500名など計1、130名の当選者が決定しました。

キャンペーンは「くまもとのお米」の販売拡大と卸・小売業者の活性化が目的。消費者に日ごろの感謝を込め、県内米穀販売業界及びくまもと売れる米づくり推進本部が一体となりキャンペーンを行いました。期間中にくまもとのお米であり、米穀販売業者精米であることを条件に精米袋にシールを添付し、消費者からシールを張ったはがきで応募してもらいました。

プレゼントの内容は次のとおり。

- ▽幸せ賞Ⅱ液晶テレビ（32型）
- ▽米こむ賞Ⅱ炊飯器▽新米賞Ⅱデジタルカメラ
- ▽豊作賞Ⅱ掃除機▽ライス賞Ⅱ



▶厳選に行われた抽選会

アイロン▽まんぶく賞Ⅱりんどうポーク▽ほほえみ賞Ⅱ高級エコバッグ

蛋白ミール公社原皮工場

竣工・落成式



落成式でのテープカットの様子

関係者、工事関係者などが出席。上村幸男社長（経済連会長）が玉串を奉げ、事業の順調なスタートを祈願しました。

これは、牛と豚の処理施設を同一施設内に配置することにより、業務の効率化を目指すもの。また、牛皮の輸出生産率を高めること、輸出先のさまざまな要望に応えることができるよう、衛生面対策に最新の施設を導入。畜産農家の経営安定のため、組合員や農家、地域への貢献を図っていきます。

落成式後の式典で上村社長は「落成式を一つの節目として、役員一丸となつて、県下畜産振興のため、より一層の努力していきたい」と抱負を述べました。

## 「折りたたみ反射エコバッグ」 3万個を贈呈

去る12月17日（木）、菊陽町の熊本県交通安全協会において「折りたたみ反射エコバッグ」の贈呈を行いました。この、「折りたたみ反射エコバッグ」は、近年の環境対策への意識の高まりや、スーパーなどでのレジ袋の有料化による活用頻度の高まりと併せて、夜



▲熊本県交通安全協会へエコバッグを贈呈。

間歩行者・自転車の交通事故防止を目的に3万個を製作し、昨年12月の「交通安全反射たすき」に引き続き寄贈することとなりました。

J A 共済では、これまで交通事故防止活動として、「全席シートベルト着用ステッカー」の寄贈や「小・中学生交通安全ポスターコンクール」、「交通安全ミュージカル」の開催を行ってきました。

今回、寄贈した「折りたたみ反射エコバッグ」は、県内23の各地区の交通安全協会を通じ、主に高齢者や主婦層に配布し、夜間歩行者の交通事故防止に役立てていく事としています。

〜日が短い季節。反射エコバッグで防げ！夜間の歩行者交通事故を  
故、  
J A 共済では、今後も交通安全思想を幅広く社会に訴えていくことを目的として、さらなる努力を続けていきます。



▲折りたたみ反射エコバッグ



## 国際協同組合同盟 の組合員総数は 8億人以上

J A グループではアジアを中心とする各国農協組合との連携・交流を行っております。国際協力活動として J A 独自に、韓国をはじめとしてタイ、フィリピン

等のアジア各国の農協と姉妹提携を結ぶなどさまざまな交流活動を展開しているところもあります。さらに、総合農協の成功モデルとして、J A グループは農民の組織化、総合農協組織の体制づくりで高い評価を受けており、途上国における農協育成などについて、専門家を派遣するなどノウハウの提供にも力を注いでいます。こうした取組みが、W T O ・ E P A 交渉におけるわが国、J A グループの立場への理解を進める一助ともなっているのです。

また、J A 全中をはじめとす

る J A グループ全国各連や、日本生協連、全漁連、全森連等は国際協同組合同盟（ICA）の会員組織です。国際協同組合同盟（ICA）は1895年に設立され、ジュネーブに本部を置く協同組合の世界組織で、世界85カ国223の会員団体が加盟しており、（2009年5月6日現在）組合員総数は8億人を超えます。そして、全世界における協同組合組織（農協、生協、漁協等）の発展と強化をめざし活動を続けています。

参考：J A 全中「J A ファクトブック2009」  
組合員数はICAホームページに  
よる。

「よい食クイズ」  
Q. お茶わん1杯  
（150グラム）の  
ごはんには、約  
1000粒のお米  
が入っている。  
ウソ？ ホント？

←正解は裏面へ

# あじがき

● 艶葉のなかで咲く、赤い椿は情熱的で、芯のある「やまとなごころ」の姿を、思いつかへる。



## 一月に咲く花「ツバキ」

和名の「つばき」は厚葉樹(あつばき)、艶葉樹(つやばき)が訛ったものである。日本が原産のつばきは、「わび・び・なび」といった独自の感性の中で作られたこともあり、このなかには、一重や小型の侘助がある。特に、茶道では花のない冬の炉につばきが珍重されており「茶花の女王」と呼ばれる。

(花ごころ) 女性ごころ  
ツバキ科 常緑高木 日本

● 盟友の皆様のご意見や周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連

電話 096-328-1284

FAX 096-328-5807

**JA共済**

### 自動車保障の新スタンダード

安心がそろってる。ムダなくそろってる。

家庭用自動車共済  
**クルママスター**

ご加入にあたりましては、お近くのJA（農協）へお問い合わせください。  
■ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>

自動車の共済のお見積りサービス実施中！  
<http://e-service.ja-kyosai.or.jp/>

みんなにサンキューキャンペーン実施中！  
<http://www.3qja.jp>

08481050411

JAグループ熊本

## 毎月18日は、「弁当の日」

基本的ルール…

役職員自らが

- ①県産品・国産の素材を購入します
- ②自分で作って持参します

「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、食への理解促進と自給率向上、米の消費拡大等を役職員全員で取り組みましょう。

JA 熊本中央会

### 【よい食クイズ】

## 答え：ウソ

約 3300 粒でお茶わん 1 杯分！。

お茶わん 1 杯（150 グラム）のごはんは、粒の大きさにもよるけれど、およそ 3300 粒のお米が入っているよ。1 本の稲穂から約 70 ～ 100 粒のお米がとれるので、約 33 ～ 47 本分の稲穂で、お茶わん 1 杯分になるんだ。

JA 全中発行「ごはんちゃんのお米クイズ（生活編）」より転載

### 第35回 熊本の春の訪れを告げる緑の祭典

# 植木まつり

平成22年 1月23日(土) 午前9時～午後5時  
2月22日(月)

熊本県農業公園 [カントリーパーク]

**KUMAMOTO** JA熊本経済連